

各位

上場会社名 アサヒ衛陶株式会社
代表者 取締役社長 町元 孝二
(コード番号 5341)
問合せ先責任者 執行役員企画管理部長 住川 章雄
(TEL 072-362-5235)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年4月14日に公表した平成23年11月期（平成22年12月1日～平成23年11月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年12月1日～平成23年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	90	83	74	4.95
今回修正予想(B)	3,264	102	100	92	6.16
増減額(B-A)	64	12	17	18	
増減率(%)	2.0	13.3	20.5	24.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	2,972	△121	△122	32	2.16

修正の理由

当期末の通期業績見通しを、第2四半期会計期間の業績等を勘案して修正するものであります。

第2四半期会計期間におきましては、第1四半期に続き、新たな経営陣のもと、今期を「アサヒ衛陶 第2の創業」と位置付け、「START MISSION“V”」(全ての業務は黒字化に向けて)のスローガンのもと、衛生陶器の海外委託生産体制の移管、水栓金具の海外調達、生産拠点及び物流拠点の集約による運賃コスト削減など、積極的に改革を進めてきたことの効果が確実に現れていることに加え、当社が海外調達体制を構築していたことで東日本大震災の影響を受けることなく、逆に震災の影響を受けた競合メーカーの代替需要や仮設住宅需要に応えることができたおかげで、計画を大きく上回る成果を上げることができました。

下半期につきましては、電力供給不足による経済活動全般への影響が懸念されておりますが、当社の環境が、リフォーム市場を中心とした継続的な需要が見込め、本格的復興需要も一部見込める状況であることから、前回上方修正時の数値をベースに予想しております。

注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上